

洋上風力発電事業について

～ 最新の情報を随時お知らせします～

問合せ
総合政策課企画政策係
(内線 1362)

洋上風力発電に関するフォーラム

11月14日
村上市民ふれあいセンター（村上市岩船）

胎内市・村上市沖は、風況の良さ等から大規模な洋上風力発電事業の適地として発電事業者から注目されており、現在、県が設置した導入研究会で両市の関係者等によって検討が進められています。

県や市では、事業の推進に当たって、市民生活や自然環境への悪影響を回避することはもちろん、住民の皆さんにご理解いただき、不安を取り除いていくことがとても大切なことと考えています。その取組の一環として、県主催による「洋上風力発電に関するフォーラム」が村上市で開催され、胎内市からも多くの方にご参加いただきました。

フォーラムでは、一部の方から洋上風力発電施設の設置によるサケ等の漁業への影響を不安視する声が寄せられましたが、一方で地球温暖化による水産資源全体への影響も見過ごすことができない状況にあることを共通認識として持つことができた有意義な機会となりました。

今後、市内においても講演会や説明会を開催してまいりますので、その際にはぜひ足をお運びください。



フォトモンタージュ

洋上風力発電設備による自然環境への影響の一つとして景観が掲げられますが、今回のフォーラムでは、洋上の風車の見え方のイメージをつかんでいただくためのフォトモンタージュが示されました。

これは、現在検討が進められている事業想定区域の案（市報 11月1日号 4ページ参照）における海岸から最も近い地点と最も遠い地点にそれぞれ高さ 187 m（出力 9.5 MW級）の風車を設置した場合の荒井浜からの見え方を示したものです。現在設置されている岩船沖油ガス田のプラットフォームと比較するとイメージしやすいかもしれません。

実際の計画段階においては、これよりも大きな風車が選ばれる場合がありますし、設置数も数十基に及ぶこととなりますので全体像をつかむためには物足りないものとなっていますが、今後、議論を深めるためにはより具体的なものが示されることが求められます。

